

議会だより

おかげさまで



国の補正予算に伴う追加経済対策分は、約2億4千万円

6月定例会の概要版

一目でわかる

賛成・反対表

- ① 国民健康保険税の改正
- ② 特別職の給与等
- ③ 一般会計補正予算

反対VS賛成討論

- ① 経済建設
- ② 総務
- ③ 文教厚生

住民懇談会の報告

5人の議員が登場

一般質問

編集後記など

14

11

8

5

4

2

定例会

6月

概要

一般会計の補正総額6億7千万円

補正後の総額は、約79億8千万円

国の追加経済対策分は、約2億4千万円

第2回定例会は、6月5日から6月22日までの18日間の日程で開催され、平成21年度岡垣町一般会計補正予算(第1号)など、7議案と、陳情1件、発議3件について審議を行いました。

本議会で提出されたものは、

- ① 岡垣町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例
- ② 岡垣町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ③ 岡垣町特別職職員等の給与・退職手当の特例に関する条例の制定について
- ④ 平成21年度岡垣町一般会計補正予算(第1号)
- ⑤ 平成21年度岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ⑥ 平成21年度岡垣町一般会計補正予算(第2号)

※採決の結果は4Pをご覧ください。



すごい。ペットボトルで浮いたよ！(内浦小学校 着衣泳)

岡垣町特別職職員等の給与・退職手当の特例に関する条例の制定について

給料の月額を引き下げ額

(単位：円)

役職	現行の額	改正する額	減額率(%)	引き下げ額
町長	779,000	716,600	8	△62,400
副町長	629,000	597,500	5	△31,500
教育長	589,000	565,400	4	△23,600

退職手当の引き下げ率

役職	現行の率	改正する率	減額率
町長	510 / 100	350 / 100	160 / 100
副町長	300 / 100	210 / 100	90 / 100
教育長	252 / 100	180 / 100	72 / 100

※報酬審議会の答申をもとに、町長が上程し、議会で可決したものです。

平成21年度
一般会計補正予算(第1号)

主な歳出

○住民参加型市場公募債発行事業

139万円

○役場新館空調更新、喫煙所撤去等

4386万円

○電子システム新規開発事業(滞納整理システムなど)

538万円

○ハイブリット太陽灯設置(4ヶ所)

700万円

○緊急雇用創出事業

1156万円

○ふるさと雇用再生特別基金事業

765万円

○まつり岡垣・春まつり補助金

750万円

○アクロス福岡観光物産展

145万円

○道路改良費

5470万円

○吉木・海老津線歩道設置工事

3500万円

○ハザードマップ作成業務

439万円

○同報系無線整備事業

1億7502万円

平成21年度
一般会計補正予算(第2号)

国の補正予算に伴う追加経済対策分の補正予算です。

主な歳出

○岡垣町基本図修正委託料

4225万円

○防犯パトロールカー購入費(1台)

208万円

○低床式コミュニティバス購入費(2台)

3703万円

○農業用排水路等補修工事(8ヶ所)

1520万円

○道路維持補修工事(5路線)

2000万円

○公園遊具等設置工事(3ヶ所)

795万円

○耐震診断調査(戸切小校舎・海老津小体育館)

1100万円

○各小学校施設整備工事

1470万円

○各中学校施設整備工事

514万円

○東部公民館施設整備工事

1126万円

○総合グラウンド防球ネット設置工事

1445万円

発議 3件

①「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

可決

②基地対策予算の増額等を求める意見書

可決

③北朝鮮の核実験に抗議する決議

可決



岡垣町も低床式コミュニティバス導入(2台)

討

論

岡垣町国民健康保険税条例の 一部を改正する条例

反対

平山 弘 議員

国民健康保険は社会保障制度のひとつである。

社会保障制度の本来の原則は「負担は能力に応じて、給付は平等に」です。

しかし現在、国保税を払えない世帯から保険証を取り上げる非情な政策が取られている。

今条例改正は、証券(上場株等)の譲渡損と配当益を通算し、3年間繰り越しできるとなっています。

証券等の所得に対する税率は本則で20%になっていますが、現在政府は10%に減税して、高額所得者優遇だと批判されています。

今回の条例改正も、この証券等優遇税制の一つであるので、賛成できません。

賛成

三角 善彦 議員



当議案の論点は、なぜ、介護納付金課税限度額が、9万円から10万円に引き上げされるのか(高所得層に負担をしいただく)との点です。

総務常任委員会は、主に3点を審議しました。

①岡垣町国民健康保険税額の推移について。

②国民健康保険事業の財源構成について。

③中間所得層の過度な負担とならない制度設計である、との考え方について。

岡垣町は、国民健康保険事業の黒字化を目的として、税率

の見直しを行うなどの取り組みをしてきました。現在、会計上は黒字になっているものの、一般会計からの繰り出し金の取り扱いについてなど、課題が残ります。

当議案の改正は、国保財政の健全化に寄与すると考えます。また、今後も、支える側と支えられる側との割合の動向を検証し、必要に応じた見直しが求められます。



今年の盆も皆で楽しく



○岡垣町特別職職員等の給与の特例に関する条例の制定について

○岡垣町特別職職員等の退職手当の特例に関する条例の制定について

反対

西田 陽子 議員

特別職報酬等審議会への諮問の理由は、景気の深刻化による税込や交付金の減少により町財政が厳しいからというものです。が、答申の内容は、地域手当は22年より廃止とあり、地域手当支給要件にない岡垣町はまずトップが即刻廃止するべきでした。国からのペナルティが課されます。また2000万円削減の内容は、退職金の比率が大きく、全国的に見ても退職金不用論があり、水巻町、中間市の選挙においてもその声が上がっています。また月額にする削減額は3人で15万円です。役職の重責はあるものの、岡垣町の個々の住民の生活実態を見ればもう一歩ふみこんだ削減をすべきです。

賛成

平山 弘 議員

町長も、地方交付税の大幅減額により、財政状況が厳しいと言っています。税金の集め方、使い方に問題がある。税金は「負担能力に応じて」ということが、人間社会が到達した本来のルールである。このルールが壊されているのが日本です。町長は特別職報酬等審議会に諮問し、答申を受けて、町特別職3役の給料・退職金の引き下げ(今年度7月1日から)や3役の地域手当の廃止(22年度から)で、4年間で2000万円削減し、福祉や教育などの事業の財源にしたいと表明しています。削減した分が、福祉や教育などの財源として、担保できる予算措置を求めます。

木原 信次 議員



議案第29号は、町長・副町長・教育長の給料を、議案第30号はその退職手当を減額する議案です。岡垣町は、三位一体の改革により、交付税や補助金が減額され、予算を削減し、住民負担を求めてきた経緯があります。宮内町長は、町長選挙の公約で、町政運営で町民の協力を望むには、自らの報酬を削減して、町民に尽くしていきたいとされた。今回報酬等審議会の答申を得て、年間500万円、一期4年で2000万円を減額するものです。町長のこの姿勢は、必ず町民に評価され、協働のまちづくりが進展することを期待して賛成の討論とします。





討

○平成21年度 岡垣町一般会計補正予算(第1号)

反対

西田 陽子 議員

3月議会が骨格予算でしたので、国の第一次補正と併せて基金3億5000万円をさらに切り崩して上程されました。現在の社会状況を鑑み緊急雇用創出事業1156万円、ふるさと雇用再生特別基金事業765万円等、雇用止めの人など今支援が必要な人の新規雇用等評価できる面も多々あります。しかし議案29、30号で特別職報酬削減のあり方について反対しましたので、同様に反対します。補正後の年収は町長1160万円、副町長967万円、教育長915万円となります。退職金は、4年間で町長1000万円、副町長500万円、教育長400万円、住民の納得できる額かです。

賛成

太田 強 議員

今回の補正は、宮内町政の政策を織り込んだ予算の計上です。まず「三役の給与等の引き下げ」は、自ら厳しい姿勢を示しました。又、「滞納整理システムの導入」や「住民参加型市場公募債発行」「緊急雇用創出事業」等は、現状の景気の悪化による雇用情勢に対する町の施策としての得得していると思います。
住民の安心、安全を守るための「同報系無線施設」や「防災マップの全戸配布」などは、宮内町政が目指す「元気なおかがき」を築く、第一歩になると思います。これらの施策を通して、町民の生き活きた行動が生まれる事を期待して、賛成討論いたします。

平山 弘 議員

政府の経済指標でも、雇用、消費、地域経済は更に悪化するとのあります。

雇用や地域経済は大きな問題です。

雇用問題は緊急性があります。

半年間ではあるが、町の臨時職員を採用するなど緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再生事業費が計上されています。

地域経済対策として土木費、農林水産費での事業も計上されています。

予算執行を通じて雇用の継続、地域経済の安定と活性化などの効果が上がるようにしていくべきです。

1億6800万円の同報系無線工事は、分割発注を含めて知恵を出して、町内業者の支援をされることを求めます。

石井 要祐 議員



今定例会での補正予算計上の中には頻発する集中豪雨や台風、地震等の自然災害やテロ災害に備えての対策として町から住民への情報提供を町内一斉に行う為の同報系無線施設整備事業費が入っています。

又、長引く景気の低迷での雇用情勢の悪化に対しての緊急雇用創出事業費やふるさと雇用創出事業費等が含まれています。私が長年訴えてきました岡垣町内の交通安全対策としての歩道整備が最も遅れ危険な生活道路である新海老津より野間ゼゼ町公園までの歩道設置費が漸く目に見えた予算として計上されています。
一日も早い完成に町の努力を期待し賛成討論いたします。

議会住民懇談会は議会と行政との

チームワークで住民の関心を

経済建設常任委員会 委員長 石井 要祐



7月2日中央公民館にて

経済建設常任委員会では、この機会に忌憚きたんのない意見や提言等をお願いして開会しました。

総括

石井 要祐 委員長

農林水産関連

山田 隆一 副委員長

商工関連

太田 強 委員

土木関連

下川路 勲 委員

平成21年度予算総額79億7600万円の内、経済建設委員会に関する農林水産費2億3500万円、商工費1億100万円、土木費8億7600万円等の予算に基づいた資料により担当委員が職員とヒアリング等行った事業内容の説明を行いました。質疑、要

望を紹介します。

①報告会の資料に金額を挿入して欲しかった。

②役場から元松原への町道整備が悪く特に浄水場の所が悪いがどうにかならないか。

③景気対策として地元業者者に早く発注をお願いする。又、企業誘致に力を入れて頂きたい。

④町道、歩道整備等を行う前に住民の要望等を聞いて欲しいし、日本一の道路にして欲しい。

⑤吉木〜元松原線の途中が5t未満しか通行出来ない所があるが改良はどのようなか。

⑥以前野間4区で要望した野間では小型団地や、集合住宅がたくさん出来ている。公園用地がなく子ども達の遊び場もない。住宅密集地には環境整備が必要で対策



を考えて欲しい。

⑦下水道の未整備地区の計画はどうなっているか。

⑧下水道整備区域内で未だに未整備の家庭がある。河川が汚れているので早急に設備をするよう指導して欲しい。

今後における住民懇談会では、皆様に期待して頂く懇談会を目指し研鑽に努めます。

開かれた議会をめざして！

総務常任委員会 委員長 三角 善彦

岡垣町議会は、昨年に引き続き、2回目の開催となる議会住民懇談会を実施しました。

総務常任委員会は、今年7月7日(火)18時から行いました。



懇談会は2時間構成です。

まず、予算等の説明をしたあとに、質疑をお受けしながら、懇談を行います。

懇談会は、議員個人の主張をしない、などのルールに則って進みます。

今回の懇談会の議題は、6月定例会で審査された、

① 宮内町長の政策が盛り込まれた第1次補正予算

② 国の追加経済対策分による第2次補正予算

説明の担当

① 予算の総括について 三角 善彦 委員長

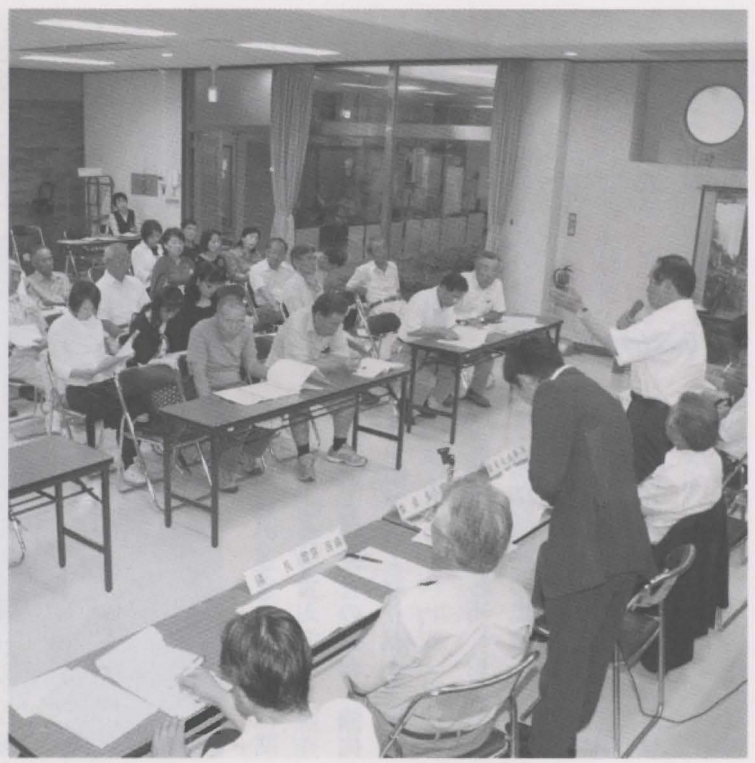
② 農業・漁業政策について 藤崎 光 副委員長

③ 同報系無線・公募債について 木原 信次 委員

④ 緊急雇用対策について 平山 弘 委員

⑤ 子育て支援について 横山 貴子 委員

懇談会の議題 本年度の当初予算は、骨格予算でした。



参加者の主な質問

① 西部地区の農業政策の充実について

② 同報系無線の使用目的、また、その効果について

③ 地域防災組織について

④ 青パトロール車について

※そのほか、

① コミュニティバスについて
② 小学校の統廃合について
などについても協議をしました。

まとめ

懇談会中、私たち議員に対して厳しいご指摘がありました。

お受けした要望等を町政に反映できるように精査することとはもちろん、将来的には、行政(役場)が予算を組む前に、住民の皆さんとの懇談のうち、議会に臨むカタチまで成熟するよう取り組んでまいります。

熱い議論・住民の英知に敬服!!

文教厚生常任委員会 委員長 竹内 和男



議会改革等の一環で、7月8日に東部公民館において「文教厚生常任委員会」として、住民懇談会を開催いたしました。

昨年の4月に引き続き2回目の開催でありましたが、委員のメンバーが大幅に変わっておりますので、初回の思いで参加いたしました。懇談会までに2度程、委員会協議会を開催し、議題の選定・担当などを協議いたしました。

協議の中で、昨年は「説明資料が無い」との住民の指摘があったことが報告され、2つの議題を選定するとともに、各議題ごと、委員長、副委員長が資料を作成することを決め、「教育環境については、市津委員、矢島委員、「高齢者福祉については西田副委員長、大堂委員が担当し、

司会を委員長長の竹内が担当しました。回答の部分では、大堂議員、矢島議員に協力を求める形で進行するよう取り計らいました。

ここでは、住民の皆様からの貴重なご意見を掲載し、御参加いただいた御礼に代えたいと思います。

① こともケイタイの取り扱いについて

② 役場の職員の机上の整理について

③ コミュニティバスを遠賀病院へ乗り入れること

④ 有害図書販売撤去の請願に対する報告について

⑤ 「予算が無い」といわないで欲しい

⑥ 防犯情報に対する対策を

⑦ ヘルパー派遣等に関して民生委員や区長と連携をして欲しい



⑧ 敬老会の運営のあり方に関して改善を考えて欲しい

⑨ 特別支援教育の拡充・強化を町として取り組んで欲しい

⑩ 海老津駅からサークルナートまでの道路の規格についてなどお伺いしました。委員会として、調査・検討協議し、今後の活動にいかしたいと思っております。

町政を問う

一般質問



大堂

中央台猿田池周辺の公園整備の促進を

町長

ため池を利用した公園整備を目指したい



大堂 園治 議員

大堂 町の中央に位置する、当地区の現状をどのように認識しているか。

町長 現地を調査したが、農業用ため池としての機能はなく、排水が滞留して沼地の状態となっている。

大堂 保安・衛生・環境面で整備に向けて町としての永年の懸案事項となっているが、これまでの取り組みの経過はどのようなになっているか。

町長 「緑の基本計画」でため池を含めた近隣公園として計画の位置づけをしている。

大堂 公園化に向けた課題や問題点は何があるのか。
町長 ため池に係る所有権保

存登記に関する問題などがある。

大堂 公園整備化に向けて、問題点をクリアーにして一つ一つ解決して、住民の強い要望の実現に町は一層の努力をするべきであると思うが。

町長 ため池の土地利用を含めた周辺環境整備は必要であり、町の方針を整理しなければならぬと考えている。

障害者の就労支援について

大堂 障害者や家族を取り巻く生活は深刻であり、一刻の猶予も許されない現実であるが町長の認識は。

町長 私も十分に理解をしている。

大堂 障害者自立のためには就労支援が重要であり、町は積極的に対策を実行するべきだと考えるが。

町長 私もそのように考えて



公園整備化が望まれる猿田池

いるので、3月に策定した障害者基本計画に沿って、進めていきたい。

大堂 早急な実行を求めているので、ぜひ努力して欲しい。

町長 再度全庁的な調査を行い新たな支援策についても検討していく。

竹内

学校の耐震化を促進せよ!!

町長

継続して耐震診断に取り組む



竹内 和男 議員

向上についても同交付金を活用し、取り組みたいと考えている。

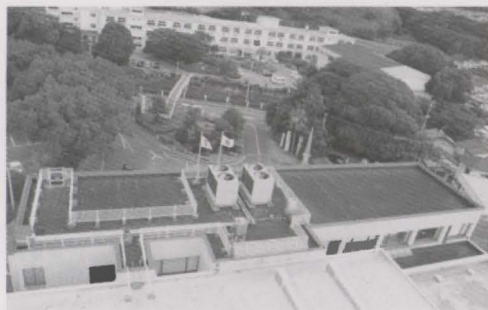
竹内 有害図書対策を!!

町長 継続した取り組みを行っている。

竹内 戸切小学校に至る途中に、有害図書販売を目的にした施設があるが、現在までの教育委員会として、教育的配慮をどのように行ったか説明を求めらる。

竹内 地域活性化・公共投資臨時交付金等の活用で、①学校耐震化の促進、②地域内の道路側溝等の改修が出来ないか町長の見解を求めらる。

町長 吉木小学校と岡垣中学校の耐震診断に引き続き、岡垣町公共建築物耐震化推進計画の優先度ランクに基づき、戸切小学校校舎及び海老津小学校体育館を、本年度国の1次補正メニューである地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用して、継続して耐震診断に取り組みたいと考えており、本議会に追加補正として、提出する。また、地域内の環境整備、住民生活の安全性を確保するという観点から、側溝等の整備



耐震改修が待たれる岡垣中学校

教育長 図書類等自動販売機

は、町内に3箇所ある。

戸切小学校区育成会議から平成19年9月に撤去の陳情が議会に提出され、12月議会で趣旨採択された。その折に文教厚生常任委員会がこの問題を取り上げて県青少年課に調査に行ったが、岡垣町の施設は、正式な手続きがとられている

ことや、県条例にも抵触していないことなどが説明された。教育委員会としては、職員が県から調査員の委嘱を受け立ち入り調査を実施している。青パトの巡回のポイントに加えてもらい、巡回を実施し、今後とも、状況把握に努め、適切に対処したい。

平山

入札にあたって、最低制限価格を設けるべきでは

町長

工事によって設けることを検討する



平山 弘 議員

だった。

「それで設計書どおりの工事が出来るのか」「安かろう、悪かろうになりはしないか」など議論になった。

公共事業の入札に当たって最低制限価格を設けるべきではないか。

町長 サンリーアイの外壁等の改修工事で、低入札が発生したことから、大規模な工事や特殊な工事について、今後、最低制限価格を設けることを検討する。

平山 公共事業が適切な価格で施行されることは町民の財産の品質・工事の安全性、事業者の経営とそこで働く労働者の生活を守ることになる。
サンリーアイの外壁等の改修事業の入札結果は、予定価格5180万円比して落札価格は2140万円、41・3%

設計書どおり行われるかであり、ダンピング受注による不正な取引を防止することになる。
また、下請けがある場合、下請け業者へのしわ寄せ、あるいは労働条件の悪化、安全対策の不徹底等を未然に防ぐことが出来る。
平山 小規模工事等登録制度を創設する考えはないか。
町長 30万円以下の工事では登録申請をしていただくのはやぶさかではない。
平山 高齢者、障害者のため、東部公民館にエレベーターを設置する考えはないか。
町長・教育長 エレベーターの設置は、強度や事業費で困難。リフトを設置する。



よいこらしよ。階段の昇り降りは大変!

西田 学校教育法で保障した就学援助制度を周知せよ

町長 広報、ホームページ等で周知に努めている



西田 陽子 議員

西田 日本国憲法26条と学校教育法19条の内容は。

町長 教育を受ける権利と受けさせる義務、経済的な理由によって就学困難と認められる保護者に市町村は必要な援助を与えなければならない。

西田 今の社会状況の深刻さから子どもの学ぶ権利にしわよせがきている。学用品や給食費等を支給する就学援助制度が周知され、活用されているか。小学生1年は約8万円、2年から5年は6万円、6年8万円、中学1年10万円、2年14万円、3年8万円支給される。
また申請書の内容を見ると、家主の証明という欄があり、これは他の市町にはない。個人情報

報を家主に知らせるのか。また文言の整理もして簡素な内容にすべき。それだけでなくも役場の敷居は高いのだから。

町長 中身を厳密に、きちんとした形で申請をしてもらうことが必要となるので他市町村を確認しながら検討する。

西田 ホームページは申請書の受付が限定され、誤解を与える。

町長 随時受けつける。表現のしかたを見やすくする。

西田 また広報を見ると、2月10日号に就学援助制度が載っていたが、わずか9行だ。それに対して町長就任挨拶は5ページだ。町長の子育て支援施策の具体化にこそページをさくべきだ。

町長 私個人のことではなく今後4年間の町づくりの決意を表わしたものだ。他に学校のあらゆる場で周知しており、比較の対象にはならない。

西田 学校現場での周知は。

町長 入学時の学校説明会や保護者へ案内文を出している。なお経済的な支援の相談があれば申請を勧めている。

西田 芦屋町は新入生説明会に担当職員が出向く。福津市は家庭訪問で話す。文科省の

通知は保護者の申請の有無だけで認定せず、学校任せにせず周知徹底せよとある。

町長 周知を図る工夫をしている。制度を十分活用して子どもたちが安心して勉強に励めるようにするのは当然だ。

太田 今後の下水道事業の経営をどう考えるか

町長 健全経営のため使用料改定も考えねばならない



太田 強 議員

太田 現状はどうなっているのか。

町長 20年度で普及率は、89.2%。水洗化率は、90.7%です。近隣他市町の公共下水道の普及率は、19年度分ですが、遠賀町29.0%、芦屋町99.9%、水巻町56.2%、中間市44.7%である。

太田 使用料の単価はどうか。

町長 20立方メートル当り単価は岡垣町2630円、遠賀町2961円、芦屋町3040円、水巻町3307円である。

太田 今後の事業計画は。

町長 処理場は供用開始して18年経過している。施設の老朽化や劣化により、設備の改築や更新工事が必要となります。平成23年度以降の整備計画の検討区域として高倉地区、元松原地区、東黒山地区、戸切地区、戸切百合野地区を考えている。

太田 今後の経営や元利償還金の状況はどうか。

町長 平成20年度で試算すると、維持管理費2億300万円、企業債元利償還金6億5200万円に対して収入は、使用料3億7000万円、繰入金4億7300万円となっている。

収益的収支において、約1200万円の単年度欠損金が生じ、累積欠損金も約2億2000万円となる見込みである。

今後の管渠整備や、処理場改築更新に伴い元利償還金は年々増加し、平成27年にはピークとなる。

また、資金的収支を含めての資金は、平成25年度には資金不足が生じると予測される。

太田 町長は、健全経営の為にどう対処するつもりか。

町長 後生につけを残すようなことはしたくない。健全経営が困難な場合は、使用料改定や繰入金など検討しなければならないと考えている。

かぐや灯籠まつり



◀商工会青年部熱き炎は僕らが守る

▲コンテナ育ちのかぶと虫



季節を告げるほおづき
(吉木区 矢野和弘さん提供)



岡垣町表彰(永年功績による)
左から 下川路議員、平山議員、山田議員

どうぞ
傍聴席へ
次の定例会は
9月4日開会の予定

編集後記

三角 善彦

町政のバトンを受けた宮内町長は、海老津地区の住民の思いを尊重し、駅裏の改札口の実現を、海老津駅南側開発の最優先課題として位置づけ、平成22年度からの5年間で完成させようと、取り組みを始めました。

いままでもなく、まちづくりに正解などありません。

行政側には、費用対効果の考え方を踏まえ、事業に取り組むことが求められる一方で、私たち住民には、対話型の行政の実現に向けた活動が求められます。

よりよいカタチを求めて行政に注文をしていくのです。

なぜなら、完成してしまつたあとの注文は、なかなか通らないことを私たちは知っているのですから。

発行責任者

議長 曾宮良壽

議会広報特別委員会

- 委員長 横山貴子
- 副委員長 三角善彦
- 委員 市津広海
- 委員 下川路
- 委員 竹内和
- 委員 山田隆一